

2019年9月8日作成

Ver.1

公開しなければいけない臨床研究

臨床研究の情報公開について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療データをまとめたり、当院に保管してある試料（血液検体や病理標本等）を用いたりして行います。このような研究は、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報や検体からは、お名前、住所など、直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

この研究に関して、研究計画や関係する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

*利用する情報に合わせて下記のどちらかにチェックをつけてください。

【個人を特定できる場合】

ご自身またはご家族等が、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないと思われる場合や研究不参加を申し出られた場合は以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。その際はこの研究で得たあなたの試料・情報等は全て廃棄いたします。いずれの場合もなんら不利益を受けることはありません。

【個人を特定できない場合】

利用する試料・情報は特定の個人を識別することが出来ないように加工した情報のため、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないとして申し出ていただいても個人を特定できないため対応できません。あらかじめご了承ください。研究に関するお問い合わせなどがある場合には下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	乾癬関節炎患者における人工知能による画像診断支援システムの構築
所属（診療科等）	横浜市立大学附属市民総合医療センター リウマチ膠原病センター
研究責任者（職名）	大野 滋（准教授）
共同研究機関	長崎大学病院（代表施設） 氏名：川上 純 データは代表施設のみに送付され、他の共同機関では使用されません。本研究の共同研究機関をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究期間	西暦 2019年 11月 19日 ~ 西暦 2021年 9月 30日
研究目的と意義	<p>本研究の目的は、PsA 患者の US を中心とした画像情報を多施設より長崎大学病院に集積し、AI による PsA 画像診断支援システム構築のためのトレーニング及びヴァリデーショ用データの集積をすることです。同時に臨床情報と保存血清を集積し、本邦における PsA の臨床的特徴を明らかにするとともに、PsA 特有のサイトカインプロファイルを探索します。以上により、PsA の画像評価の標準化と PsA の病態解明を目指します。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん 乾癬性関節炎の患者さんで、2010年1月1日から、2020年12月31日の間に、診断を受けた方を対象とします。</p>
	<p>●利用する情報/試料 診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、残余血清 本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
	<p>●研究方法 上記のカルテ情報・画像検査・残余血清を用いて、乾癬性関節炎の画像診断・臨床的特徴・病態についてデータ解析を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：大野 滋（医師） 横浜市立大学附属市民総合医療センター リウマチ膠原病センター 住所：〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 電話：045-261-5656</p>